

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

国立国際医療センター リハビリテーション科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／栄養管理室 では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

軽度嚥下障害患者を対象とした「嚥下フレイル外来」の有効性に関する後ろ向き研究

[研究対象者]

2024年11月1日から2025年10月31日までの間、「嚥下フレイル外来」の初診を受けた方。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

年齢・性別・BMI・原疾患の情報と、「嚥下フレイル外来」で行った検査所見（嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、嚥下関連筋力測定、呼吸関連指標測定、自記式質問紙評価、サルコペニア評価）をカルテから収集し利用します。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

嚥下障害は加齢、神経・筋疾患、薬剤、口腔機能低下など様々な要因で発症し、高齢者のうち約3人に1人が患っていると報告されています。嚥下障害が進行し誤嚥性肺炎を来すと致死的な場合もあり、軽度嚥下機能低下の段階での予防的取り組みが求められています。そこで、「嚥下フレイル外来」の有効性・安全性を確認するために、受診した患者様の診療記録情報を調べることにしました。

[研究実施期間] 研究実施承認日～ 2027年3月31日（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 国土 典宏

研究責任者：

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科医長 藤谷 順子

研究内容の問合せ担当者：

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科レジデント 美濃部 俊輝

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～17時）

